

平成30年度第2回「日向市男女共同参画推進審議会」が開催されました。

男女共同参画推進審議会は、「日向市男女共同参画推進条例」に基づいて設置され、男女共同参画社会の形成の促進に関する施策及び重要事項を調査審議していただく市長の付属機関です。

平成30年度第2回日向市男女共同参画推進審議会が、平成30年10月23日（火）に開催されました。

【第2回日向市男女共同参画推進審議会】

■日時：平成30年10月23日（火）午後3時から午後4時30分

■会場：日向市役所2階 201会議室

会 議 録

会議の名称	第2回日向市男女共同参画推進審議会
開催日時	平成30年10月23日（火） 午後3時～午後4時30分
開催場所	日向市役所 2階201会議室
出席者	出席者：11人 田辺委員、廣島委員、木村委員、井上委員、河野委員、片桐委員、黒木委員、児玉委員、菊澤委員、原田委員、釘宮委員 事務局：2人
議 題	平成29年度版「第5次日向市男女共同参画プラン」関連事業実施状況報告書（案）について
会議資料の名称及び内容	平成29年度版「第5次日向市男女共同参画プラン」関連事業実施状況報告書（案）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>■開会</p> <p>■会長あいさつ</p> <p>■地域コミュニティ課長あいさつ</p> <p>■議事 平成29年度版「第5次日向市男女共同参画プラン」関連事業実施状況報告書（案）について</p> <p>《報告書（案）に基づき、説明》</p> <p>全体的な質疑に入る前に、2名の委員から事前に提出された意見への質疑応答を行った。</p> <p>以下、（ ）内は報告書の該当ページと事業番号を示す。</p> <p>（事前に提出された質問・意見に対する質疑応答）</p> <p>○（P21）SAP 会員とは？</p> <p>○事務局</p> <p>日向市SAP（Study for Agricultural Prosperity）会議の略で、日向地域内における若手農家を対象とした、農業に関する知識や技術、経営感覚の醸成等を目的とした勉強会や研修会を開催する会議のこと。</p>	

○ (P41) 「白いポスト」の設置も大切かもしれないが、市内コンビニから有害図書コーナーの撤廃を協議できないのか。(先進自治体では実現しているところもあるのでは)

○事務局

白いポストの設置とは、市の育成センターが中心となって、県や警察と連携しながら、市内数カ所に設置された白いポストに投函された有害図書の回収を行っている取組のこと。コンビニ等での有害図書撤廃については、具体的に机上での議論には至っていないものの、県や県警が年に1～2回、今年7月に市内のコンビニでの立ち入り調査を行っているようだ。協議に関しては、所管の文化生涯学習課につないでおきたい。

○ (P45～46) 数値目標、市の幹部、管理職、部長職の女性比率の目標も設置を。

○委員

市の幹部がどのあたりからかは分からないが、全部比率を明確にした方がいいのではないか。例えば課長職を何年に何パーセントにするとか、やるべき時期に来ているのでは。今部長職が1名という現状では、市が女性向けの政策を進めていこうにも難しいのではないか。意識的に進めていかないと、幹部候補として女性を位置づけるという風にしないと絶対に進まないと思う。人材育成も10年がかりというし、中長期的に『部長職を10年後までに半分にします』とかしないと難しいと感じた。

○ (P19) あらゆる分野における女性の活躍について、区長の女性比率について問題として課題化すべき。「女性が担うには無理がある」「区の代表は男性でないと」という雰囲気があるように思う。計画的に比率を向上させる取組について考えていくことを望む。

○委員

いろんな事情があるだろうが、男性が区長をやるなら1年目は自分がしても2年目はその妻がするとか、内助の功は夫がするという風にして、女性の比率を上げていく努力をする必要があるのではないか。

○委員

もっともな意見。うちの区でも以前女性の区長がいた。区の集会や協議会でも女性の発言力は強い。ただ、区長になるには、会社などでもそうだが管理職にある男性が多く、女性はどちらかというところ、『これはしますが、区長は・・・』と遠慮される方が多い。女性側も壁を打ち破っていかなくてはいけないのかなと思う。

○委員

世界のトップの4割が女性になれば、世界から戦争はなくなるという学者もいる。夢物語じゃなく、取り組んでほしい。

○ (P3 - 3) 出前講座が2回では少ないのでは。ぜひ教職員向けを増やしてほしい。

○事務局

富島高校と日向高校の教職員向けに行った出前講座のこと。需要があれば増やしていきたい。主催する「さんびあ」にもこういったご意見をつなぎたいと思う。ただ、自分達が把握していないだけで、学校では男女共同参画に関する研修等に既に取り組んでいるかもしれない。需要の把握に努めたい。

○ (P28-106) 相談日、相談時間について夜の時間帯の検討を。相談者の側に立った拡充が必要。

○事務局

開設時間の拡充については、財政面や体制面での課題も加味しながら検討していきたい。試験的な導入も方法として考えられる。

○委員

相談をしたい方にとっては、夜落ち込んだ時など、本当に話を聞いてほしい時間帯に空いているといいのではないかと思う。

○事務局

行政機関でも夜間相談を開設しているところはある。種類によっては、夜間に相談員がいた方がよい場合もある。貴重なご意見をいただいた。

(質疑)

○会長

ここからは、改めて説明のあった報告書案に対する審議の時間とする。審議会の役割としてこの内容で良いのか判断するにあたり、皆様からご意見をお伺いする。発言の際は、記録のためお名前と、質問や意見を要するページを述べてから、ご発言いただきたい。

○委員

13ページと14ページの42、「一時保育」について。法人立14園が実施とあるが、公立2園も実施している。確認してほしい。

○委員

「一時保育」と「一時預かり」ではまた違う。「一時預かり」は富高保育園と大王谷保育園が実施しており、これも抜けているのではないか。国や県からの補助によっても異なる。

○事務局

「一時保育」と「一時預かり」について、項目も別かどうかを含めて担当課に確認する。

○委員

22ページの79、放課後子ども教室について。平岩でも対応するボランティアは高齢者であるが、他が見つからず辞めるに辞めれないと苦労しているようだ。ひとつは時給の問題がある。半分はボランティアの気持ちでやらないと難しい。若い方が代わりには難しい。一方で子どもは増えている。毎年、まちづくり協議会でも『予算がどうにかならないか』と意見が出ている。それから、長期休暇中の対応も原則やらないため、土日と夏休み、冬休みは開設されない。何とか自主的に開設できないかと、昨年くらいからバルーンアートや料理教室、凧作りとボランティアで対応してきたが、限界がある。ハード面や体制面で苦労している実態を毎年危惧している。検討をお願いしたい。

○会長

女性が働きやすい環境への取組だと思うので、ご検討いただきたい。

○事務局

放課後こども教室と放課後児童クラブだと、担当課が異なるが、ご意見をつなぎたい。

○委員

予算的な事情もあるだろうが、検討を。

○委員

自分も東郷地区で関わっている。子ども達にとっては重要な場所である。家に帰って誰もいない状況が改善されるし、また、仲間作りにも役立つことから、いい環境だと思う。今後子どもの健全な育成を図っていくためにも、こうしたところに予算を多くつけるべき。施設の充実についても、要望を出さないと改善していかない。保護者の方々も安心して働けるし、ぜひ施策を重要視して、今後の予算配分を考えていただきたい。

それから、46ページの数値目標、審議会等への女性委員の割合について、これは行政として一番取り組みやすいところだと思う。そこが伸びていないということは、所管課で真剣に取り組んでおられるのか疑問。というのも、審議会等の設置根拠が色々あるが、例えばその根拠となる要綱等の中で、委員の選出について規定があるはずだから、より女性を推薦しやすくなるような文言に変えるなり、どうにか対応できないか、積極的な取組をお願いしたい。そうすれば比率も上がってくるし、重要な政策決定に女性の視点を活かすことで、住みやすい日南市づくりができると思う。

○会長

女性が選ばれやすい規定、要綱づくりを、ということか。

○委員

そうだ。女性側も積極的に意見を言いやすくなり、今までにない変化が出てくると思う。

○委員

38ページの150、性教育の指導に関して。対応されていることはわかるが、自分の認識では、女生徒に対する指導の方がレベルが高い気がする。一方、男子生徒は極めて知らなすぎるのでは。その格差を放置していて良いのかと思う。また、男子生徒が知らないゆえに、子どもができた時の感覚が女性側にしか負わされない。格差の縮小というかここまでは男子生徒が知る必要がある、というレベルについて検討する段階にあるのではないか。インターネットの普及に伴って、性の問題は低年齢化している。

○委員

こども課には、中学校の養護教諭の先生方が、沐浴の用品や妊娠体験用具などを借りに来られる。今は、自分たちの時代と違って家庭課を男女ともに学ぶ時代なので、おそらくこうした妊娠にまつわることも男女で学んでいると思う。男子生徒にも行っていると思う。

○会長

学校では、文科省の方針で時間数も決められており、保健学習や学級活動の時間、また、修学旅行など宿泊研修の前など、あらゆる場面できちんと指導を行っている。ただ、委員の言われるように、深く、たくさん時間をかけていく必要もある。

他にご意見はないか。資料を見ても多岐にわたって取り組まれていると感じた。今いただいた内容を今後のためにもつなげていただきたいと思う。

○委員

「さんぴあ」の果たす役割については、労働条件を含めて大変な状況を見ている。ぜひ指定管理者団体と十分協議されて、今後に向けた改善を図っていただきたい。

○会長

「さんぴあ」は、拠点施設としても重要な役割がある。善処していただければと思う。

では、表裏的な部分などについては、事務局で修正いただくとして、その他意見がなければ、

まとめに入りたいがよろしいか。

○委員

よろしい。

○会長

この報告書（案）を承認するということによろしいか。

○委員

承認する。

○会長

では、審議会として承認する。皆様からの意見を受け、今後の市の取組がさらに充実していくようお願いする。

午後4時30分 閉会

■閉会